

4 企業会計収入支出予算の概要

企業会計は、地方公営企業法に定められた諸事業と採算性のある事業について、条例の定めるところにより設置するものですが、本県では、公共の福祉を増進するため、病院、水道、工業用水道および電気の4事業の経営を行っています。

本年度の企業会計予算の総額は、第15表のとおりで、前年度の390億8,780万1千円に比べ、41億3,113万3千円、10.6%の増となっています。

第15表 企業会計予算の状況

(単位：千円、%)

会 計 名	平成26年度 当初予算額 (A)	平成25年度 当初予算額 (B)	比 較	
			増 減 (A) — (B)	伸 び 率 (A) — (B) / (B)
病 院 事 業	8,803,679	7,833,471	970,208	12.4
水 道 事 業	16,190,004	15,579,112	610,892	3.9
工業用水道事業	12,628,869	10,050,668	2,578,201	25.7
電 気 事 業	5,596,382	5,624,550	△28,168	△0.5
合 計	43,218,934	39,087,801	4,131,133	10.6

企業会計収入支出予算について、その概要を説明します。

(1) 病院事業会計

病院事業は、こころの医療センター、一志病院及び指定管理者制度を導入した志摩病院の3病院を管理運営し、県民の健康保持と医療水準の向上に努めています。

ア. 業務の予定量

(ア) 病床数 836床
(イ) 患者数

	年 間	1日平均
入院患者数	208,062人	570人
外来患者数	165,082人	677人

イ. 収益的収支 収入 5,691,753千円 資本的収支 収入 1,508,356千円
支出 6,929,803千円 支出 1,873,876千円

収益的収入は、入院収益、外来収益などの医業収益29億2,577万2千円、他会計補助金、負担金などの医業外収益27億6,598万1千円です。

一方、収益的支出は、職員給与費26億761万8千円、薬品費などの材料費2億8,501万8千円、事業運営経費17億5,681万円、施設・器械備品などの減価償却費6億2,695万5千円等の医業費用53億409万4千円、支払利息などの医業外費用2億2,857万5千円、及び退職給与引当金等に係る特別損失13億9,713万4千円です。以上の結果、収支差引で、12億3,805万円の当期純損失を計上しています。

次に、資本的収入は、企業債3億8,490万円、県費負担金7億5,545万6千円、固定資産売却代金

1,800万円、短期貸付金返還金3億5,000万円です。

一方、資本的支出は、病院増改築工事費1億2,951万5千円、各病院の医療機器購入など資産購入費2億6,421万8千円、企業債償還金11億1,694万3千円、看護師等修学資金貸与費に係る長期貸付金1,320万円、短期貸付金3億5,000万円です。

平成26年度の事業運営については、次のとおり行います。

ア．こころの医療センター、一志病院及び病院事業庁（県立病院課）

中期経営計画に基づき、こころの医療センターについては、精神科医療の中核病院としての取組など、一志病院については、家庭医を中心とした地域医療の取組など、求められる役割・機能等に応じた医療サービスを、安定的かつ継続的に提供します。また、経営の健全化を図っていきます。病院事業庁（県立病院課）については、県直営の2病院とより緊密に連携し、各病院の経営改善に向けて積極的に取り組みます。

イ．志摩病院

指定管理者制度を導入した志摩病院については、基本協定等に基づき、診療体制の回復がさらに図られるよう、指定管理者に対して適切に指導・監督を行います。

（２）水道事業会計

水道事業は、四日市市、桑名市、鈴鹿市及び亀山市を含む4市4町を対象とした北中勢水道（北勢系：施設能力1日最大給水量149,300m³）、津市、松阪市を対象とした北中勢水道（中勢系：施設能力1日最大給水量140,216m³）、伊勢市、松阪市、鳥羽市及び志摩市を含む4市4町を対象とした南勢志摩水道（施設能力1日最大給水量138,150m³）による給水を行い、上水の安定した供給に努めています。

ア．業務の予定量

年間総給水量 75,256,795m³

1日平均給水量 206,183m³

イ．収益的収支	収入	11,710,220千円	資本的収支	収入	1,935,583千円
	支出	9,524,074千円		支出	6,665,930千円

収益的収入は、給水収益101億2,817万7千円とその他営業収益を合わせた営業収益101億3,182万2千円及び長期前受金戻入7億9,700万2千円等の営業外収益10億1,073万9千円が主なものです。

収益的支出は、人件費、修繕費、減価償却費等の営業費用82億9,103万9千円と支払利息等の営業外費用11億7,298万9千円が主なものです。

以上の結果、19億4,790万1千円の当期純利益を計上しています。

次に、資本的収入は、一般会計出資金11億8,312万5千円や工事負担金5億2,296万3千円が主なものです。

資本的支出は、北勢水道改良事業等の建設改良費27億438万6千円と企業債等の償還金39億6,154

万4千円です。

ウ. 主な建設改良計画

建設改良事業としては、既設の北勢水道等の改良事業のほか、南勢水道拡張事業を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
業務設備改良工事	H26	219,964	219,964	既設設備の改良
北勢水道改良事業	H26	1,156,821	1,156,821	既設施設の改良
中勢水道改良事業	H26	463,080	463,080	既設施設の改良
南勢水道改良事業	H26	272,662	272,662	既設施設の改良
南勢水道拡張事業	H23～26	721,025	519,378	目標日量1,700m ³

(3) 工業用水道事業会計

工業用水道事業は、北伊勢工業用水道（1日給水能力830,000m³）、中伊勢工業用水道（1日給水能力33,000m³）、松阪工業用水道（1日給水能力38,500m³）及び多度工業用水道（1日給水能力10,000m³）により、工業用水の供給をしています。

また、県内の工場に良質な工業用水を安定的に供給するため、的確な水処理や配水運用を行うとともに、北伊勢工業用水道事業等において、施設の計画的な改良や整備を行います。

ア. 業務の予定量

(ア) 給水会社数	94社
(イ) 年間総給水量	211,277,772m ³
1日平均給水量	578,843m ³

イ. 収益的収支	収入 6,468,772千円	資本的収支	収入 1,973,688千円
	支出 6,207,407千円		支出 6,421,462千円

収益的収入は、給水収益55億2,895万6千円とその他営業収益を合わせた営業収益60億540万8千円と長期前受金戻入4億4,320万5千円等の営業外収益4億6,336万4千円です。

収益的支出は、人件費、負担金、減価償却費等の営業費用57億2,282万円と支払利息等の営業外費用4億541万9千円が主なものです。

以上の結果、6,624万8千円の当期純利益を計上しています。

次に、資本的収入は、一般会計出資金11億7,194万円や企業債6億8,020万円が主なものです。

資本的支出は、北伊勢工業用水道改良事業等の建設改良費37億2,680万9千円と企業債等の償還

金26億9,465万3千円です。

ウ. 主な建設改良計画

建設改良事業としては、北伊勢工業用水道改良事業等を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
業務設備改良工事	H26	482,146	482,146	既設施設の改良
北伊勢工業用水道改良事業	H26	3,039,623	3,039,623	既設施設の改良

(4) 電気事業会計

電気事業は、長、宮川第三、三瀬谷、大和谷及び青田の5発電所において水力発電を、三重ごみ固形燃料発電所においてRDF焼却・発電をそれぞれ行っています。なお、宮川第一、第二及び蓮発電所については、平成26年4月1日に中部電力(株)へ譲渡しました。

ア. 業務の予定量

年間販売電力量 117,469,079kWh

イ. 収益的収支 収入 3,087,909千円 資本的収支 収入 2,803,776千円
支出 4,420,276千円 支出 1,176,106千円

収益的収入は、電力料16億7,391万7千円等の営業収益16億7,460万8千円、RDF焼却・発電事業の附帯事業収益10億2,299万7千円及び長期前受金戻入3億8,382万1千円等の営業外収益3億9,030万4千円です。

収益的支出は、人件費、修繕費、減価償却費等の営業費用20億5,257万7千円とRDF焼却・発電事業の附帯事業費用11億1,897万3千円が主なものです。

以上の結果、11億2,419万8千円の当期純損失を計上しています。

次に、資本的収入は、宮川第一、第二及び蓮発電所の譲渡に伴う固定資産売却代金28億377万6千円です。

資本的支出は、宮川第三発電所改良事業等の建設改良費1億4,526万4千円と企業債等の償還金10億3,084万2千円です。

ウ. 主な建設改良計画

建設改良事業としては、既設の設備改良事業を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
宮川第三発電所改良事業	H26	142,083	142,083	既設発電所の設備改良

一口メモ

- 収益的収支…当該年度の企業の経営活動に伴い発生する収益（収入）とそれに対応する費用（支出）であって、収入は、サービスの提供の対価としての料金収入が主体であって、支出にはサービス提供に要する職員給与費、支払利息、建物等の固定資産の減価償却費等が計上されます。
- 資本的収支…住民に対するサービスの提供を維持するとともに、将来の利用増に対処して、経営規模の拡大を図るために要する諸施設の整備、拡充等の資産の取得に要する経費、施設の取得に要した企業債の元金償還金などの支出と資産の取得に要する企業債等の収入が計上されます。